

資料提供

令和2年10月13日
課名：地域力創造課
担当者：山田
内線：2581
直通電話：082-513-2581

登録制のウェブ移住相談全国最大・さらに全国初の機能実装 AI移住相談システム ひろしまライフスタイリスト「あびいちゃん」 大幅リニューアルを行い本格運用スタート!!

広島県では、昨年11月26日に、AI技術を活用した移住相談システム「あびいちゃん」の試験運用を開始し、その後、相談者に応じて回答を出し分ける機能などの拡充を図り、この度、東京相談窓口で蓄積したノウハウを活用する機能の骨格が構築できました。

現時点の登録者は1万8千人弱であり、1日当たりの相談件数は、多い時で700件を超えるなど、相談機能が大きく向上しています。

引き続き、多くの方々に利用いただくことでAIの機械学習機能による回答精度の向上を図るとともに、ウェブ上での相談から地域の人や関係機関につなぐ機能を拡充し、本県への移住者の増加につなげていきます。

1 試験運用の成果

- 登録者数は、10月11日現在で、17,822人(うち県外96.3%)まで増加している。
(登録制のウェブ移住相談としては**全国最大**)
- 1日当たりの相談件数は、多い日には700件以上となっている。
(東京相談窓口は11.2件/日 *R1年度実績、メール・電話を含む)
- AI移住相談の利用は、東京相談窓口の営業時間(10時から18時)外の利用が82.3%であるとともに、東京都以外の県外が79.6%となっており、“いつでも・どこからでも”の相談対応が可能となっている。
- 登録者アンケートによれば、「移住に関して新たな気づきがあった:23.0%」「ネット検索では入手できない情報がわかった:22.6%」など、東京相談窓口ノウハウの実装を評価する意見が69.2%あった。
- AI相談の利用者が、窓口訪問、セミナー参加、AI提供サービスの利用を行ったり、実際に広島県に移住した事例もある。



あびいちゃん

2 本格運用における主な機能拡充

- AI相談の利用者が自由入力欄に書き込んだ単語や文章から、AIが相談者のニーズや移住検討の熟度を判断し回答を出し分けます。
- 相談者のニーズに応じた、対話の始め方や誘導パターンの種類を増やし、回答情報を大幅に増加しています。
- AIが相談者の名前を呼んで話しかけることで、親近感を醸し出したり、イベント参加などによりポイントがたまって特典が提供される制度など、楽しい機能を追加しています。
- ターゲットに応じた各種SNSからAI相談窓口への誘導経路や、オンラインイベントの経由などによる、AI相談から地域の人や関係機関等へのつなぎの接点を拡充しています。

3 今後の方針

次の取組などにより、AI 相談による移住促進効果を高めていきます。

- コロナ禍の影響による移住動向の変化も踏まえて、移住に関係する様々なクラスターにデジタルマーケティングなどを行い、登録者の増加を図ります。
- 利用状況などのデータを分析して、回答の出し分け機能等を改善し、回答数を更に増加させていきます。
- AI 相談から受け皿となる地域の人や関係機関、企業などにつなげる機能を拡充します。

4 登録方法

移住ポータルサイト「HIROBIRO.」から登録 (<https://www.hiroshima-hirobiro.jp/>)

【参考】見直しポイント（会話のイメージの対比）

The image illustrates the transition of the chatbot's conversation style from a formal, information-heavy mode to a more conversational and user-friendly mode.

【試験運用時】 (Exam Use Mode): The interface shows a list of topics. The selected topic is "地方移住はどんなもの" (What is local migration like?). The chatbot's response is formal and provides a list of links for further information.

【本格運用時】 (Actual Use Mode): The interface shows a more conversational chatbot character. The chatbot's response is friendly and asks for the user's location and interests to provide more personalized advice.

The comparison shows that the chatbot's response in the actual use mode is more personalized and conversational, addressing the user's specific context (e.g., "広島 (Uターン)" and "神奈川") and offering more relevant support.

(拡充した機能イメージ)



「因島」と回答しても、「尾道市内の地名」と解釈し、親和性の高い情報を提供

利用者が自由入力欄でそれまでに使ったキーワードからニーズを判断して、AIの中に蓄積した関連情報の中から、親和性の高い情報を複数提示



「仕事」のことを聞かれたので、「尾道」の「仕事」情報を提供

ただし、利用者が自由入力欄でそれまでに使ったキーワードから、「お洒落な職場に関心がある」と判断し、尾道のセレクトショップや、尾道ではないが（三次）ワイナリーを紹介

利用者が自由入力欄でそれまでに使ったキーワードから、関心を持ちそうな移住者インタビューを紹介

相談者が自由入力欄で使用したキーワードをまとめて可視化し、自分の思い・考えの客観視を促進